

日本看護歴史學會 會報

日本看護
歴史学会
第76号
2021年7月15日

日本看護歴史学会第35回学術集会のご案内

看護高等教育の源流を探る —過去をとらえ未来へつなぐ看護史・自校史の仕事—

日 時：オンデマンド配信 2021年8月16日（月）～9月10日（金）
ライブ配信 2021年8月28日（土）
会 場：Web開催（<https://jsnh35.net/> よりWeb会場へ）
学術集会長：渡部 尚子（聖路加国際大学 名誉教授）



渡部尚子学術集會会長

2020年の新型コロナウイルスの出現は、今なお社会に大きな影響を及ぼしています。私たちの学会も昨年の第34回学術集会是誌上開催、本年の第35回はWeb開

催と、初めての試みを続けています。大変な状況下、理事会セッションも感染症と看護という今まさに関心の高い企画を用意いただきました。今回のメインテーマ「看護高等教育の源流を探る—過去をとらえ未来へつなぐ看護史・自校史の仕事—」のもと、新しい道を切り開いてきた方々に学び、次なる発展を考える機会としていただけたらと思います。

さて、看護の高等教育はおよそ100年前に聖路加女子専門学校がその端緒を開き、大学院開設、博士課程へと発展し、現在もより質の高い教育を目指しています。その道のりを大会長講演でお話いたします。

看護高等教育の拡充は、設置大学の増加とともに教育・研究の高度化を支える大学院の開設も必須でした。看護職能団体・看護系大学等団体は、地道な支援・推進活動により実現を支えました。これについて、両方の立場

を経験された神戸市看護大学・南裕子学長にご講演いただきます。

歴史は、普段身近に感じることは少ないでしょう。特に看護系の大学では、学部や学科の設置の多様さ、開設まもない大学が多いこと、教員の流動性が高いことなどから、歴史を遺すことに意識が至りにくいのではないかと思います。こうしたアーカイブズ活動と学生に伝えていく自校史教育の出発点を立教学院展示館・豊田雅幸学芸員にご講演いただき、交流セッション講演・意見交換により具体的な課題などを率直に語り合いたいと思います。

さらに、特別講演は、渋谷史料館・井上潤館長に日本の経済活動を近代化したことで知られる渋谷栄一についてご講演いただきます。新一万円札の肖像、現在放送中の大河ドラマ「晴天を衝け」の主人公として、関心がある方も多いと思います。渋谷栄一は、聖路加国際病院の評議員を務めるなど、福祉や教育の分野にも多くの支援・足跡を残しています。

歴史を学ぶ・知るとは、単なる回顧ではなく、それを足掛かりに新しい方策を見出していくことだと思います。会期を通して、またライブ配信の意見交換を通して、研鑽を重ねていきたいと準備を進めております。皆様のご参加をお待ちしています。

日本看護歴史学会第35回学術集会プログラム

会長講演 (8月28日ライブ、以後オンデマンド)

聖路加国際大学における看護高等教育の挑戦の歴史

演者：渡部 尚子 (聖路加国際大学 名誉教授)

座長：丸山 マサ美 (九州大学大学院)

教育講演Ⅰ (8月28日ライブ、以後オンデマンド)

看護教育の大学化の推進に対する看護職能団体・看護系大学協議会等が果たした歴史的役割の考察

演者：南 裕子 (神戸市看護大学 学長)

座長：渡部 尚子 (聖路加国際大学)

教育講演Ⅱ (オンデマンド)

大学アーカイブズの可能性

演者：豊田 雅幸 (立教学院展示館 学術コーディネーター・学芸員)

座長：佐居 由美 (聖路加国際大学)

特別講演 (オンデマンド)

渋沢栄一の足跡をたどる

演者：井上 潤 (渋沢史料館 館長)

座長：田中 幸子 (慈恵会医科大学医学部看護学科)

交流セッションⅠ (講演はオンデマンド、意見交換は8月28日ライブ)

看護学教育における自校史教育の意義ー建学の精神を未来へつなぐー

演者：佐居 由美 (聖路加国際大学 准教授)

演者：和住 淑子 (千葉大学大学院 教授)

座長：川原 由佳里 (日本赤十字看護大学)

交流セッションⅡ (講演はオンデマンド、意見交換は8月28日ライブ)

看護アーカイブズのはじめ方ー今、遺(のこ)すべきものは何かー

演者：新沼 久美 (聖路加国際大学 大学史編纂・資料室)

演者：富田 美加 (茨城県立医療大学 教授)

座長：大西 智子 (日本赤十字社赤十字情報プラザ)

一般演題 (オンデマンド)

理事会セッションⅠ (戦争と看護シリーズ) (8月28日ライブ)

『看護覚え書き』からみる感染症と看護

演者：平尾 真知子 (健康科学大学 教授)

司会：川嶋 みどり (日本赤十字看護大学)、佐々木 秀美 (広島文化学園大学)

理事会セッションⅡ (特別委員会) (オンデマンド)

新型コロナウイルス感染症に対する看護職の対応

演者：坂本 史衣 (聖路加国際病院 QI センター 感染管理室マネジャー)

司会：滝内 隆子 (金沢医科大学)、城丸 瑞恵 (北海道公立大学法人札幌医科大学)

理事会セッションⅢ (研究活動推進委員会) (オンデマンド)

「病い観」を見つめるーハンセン氏病の歴史に焦点を当ててー

演者：屋宜 譜美子 (湘南鎌倉医療大学 教授)

司会：鈴木 紀子 (国際医療福祉大学)、丸山 マサ美 (九州大学大学院)

お楽しみ企画 (オンデマンド)

立教学院展示館における「聖路加看護教育の100年」特別展、聖路加国際大学周辺案内 動画

参加登録のご案内

1. 参加登録

第35回日本看護歴史学会学術集会ホームページの参加登録 (<https://jsnh35.net/entry/>) の参加登録フォームに必要事項を入力しオンライン登録をお願いします。

参加登録締切：7月25日(日) 23:59

※参加登録がうまくいかない・参加費支払方法などお問い合わせは、

プロコムインターナショナル参加登録デスクへお願いします。

(E-mail: jsnh35@procom-i.jp または 電話: 03-5520-8824)

2. 参加費

参加費：学会員 ¥7,000 非学会員 ¥8,000 学生(大学院生除く) ¥2,000

参加費支払期限：参加登録後1週間以内(最終期限 8月1日(日))

支払方法：銀行振込またはクレジットカード払い

※参加登録を進めていただきますと、振込先などをご案内します。

3. Web開催について

- ・ライブ配信のタイムスケジュールは、Web会場および抄録集に掲載します。
- ・Web会場への入り方（ログイン）、視聴方法のご案内を抄録集に掲載します。
- ・抄録集は参加登録いただいたご住所へ紙媒体（冊子）でお届けします。（オンデマンド開始前予定）
- ・参加登録、参加費支払後にWeb会場ログインが可能になります。ログインには参加登録時のメールアドレスとご自身で設定するパスワードが必要です。必ず控えておいてください。お問い合わせいただいても事務局ではわかりかねます。
- ・パソコンやスマートフォン等によりWeb会場にログインして、会期中、演題等を視聴することができます。参加登録をしていない方が同席しての視聴はお控えください。講演・演題等の録画やダウンロードはできません。ご理解とご協力をお願いします。

第35回日本看護歴史学会学術集会事務局：聖路加国際大学内 E-mail：35jsnh@slcn.ac.jp

理事会セッションⅠ：戦争と看護シリーズ（8月28日ライブ）

『看護覚え書』からみる感染症と看護

演者：平尾 真知子（健康科学大学 教授）

司会：川嶋 みどり（日本赤十字看護大学）

佐々木 秀美（広島文化学園大学）

COVID-19のパンデミックは、広範な人々の自由を制限し、新生活様式のもとで耐え忍ぶ生活が続いています。また、高度医療のもとで尊いいのちが奪われ続けています。そこで恒例の「戦争と看護」のセッションを、今年に限って「感染症と看護の歴史を辿る」としました。

平尾真智子氏（健康科学大学教授）に、『看護覚え書』

からみる感染症と看護」と題して、話題提供をして頂きます。19世紀の細菌学未確立の時代の感染管理・看護に関するナイチンゲールの考え方が、特定の治療薬のない現代のCOVID-19の感染予防に活かせるのではないのでしょうか。オンライン上ではありますが、感染症にまつわる看護の歴史を参加者とともに辿ります。

理事会セッションⅡ：特別委員会（オンデマンド）

新型コロナウイルス感染症に対する看護職の対応

講師：坂本 史衣（聖路加国際病院）

司会：滝内 隆子（金沢医科大学）

城丸 瑞恵（札幌医科大学）

2020年は、新型コロナウイルス感染症が全国的に拡大して、人々の日常生活に大きな影響を及ぼしました。2021年5月末現在も感染は収束せず、各地で緊急事態宣言が発令されている状況です。この間、医療機関では、それぞれの役割を果たしています。また、感染予防や対応への経験を蓄積して効果的なシステムも生まれています。そこで今回、感染管理の専門家である聖路加国際病院

QIセンター感染管理室マネージャー坂本史衣氏に講師をお願いしました。坂本氏には、新型コロナウイルス感染症の現状と新型コロナウイルスに対して医療機関で実施すべきこと及び日常生活の中で注意すべきことについてご講演いただく予定です。看護職としての対応方法について、皆様と考えていきたいと思っています。

理事セッションⅢ：研究活動推進委員会（オンデマンド）

『病い観』を見つめる

ーハンセン氏病の歴史に焦点を当ててー

講師：屋宜 譜美子先生（湘南鎌倉医療大学教授）

司会：鈴木 紀子（国際医療福祉大学）

丸山 マサ美（九州大学大学院）

研究推進委員会では、学術集会において交流セッションを企画し、学会員の歴史研究力の向上を目指しています。今年度は、授業に活かせる内容を企画しました。看護歴史に関する教育は、看護学概論の中で行われています。人間観、健康観、倫理観、病気観等を学ぶ教材として、

ハンセン氏病の歴史に焦点を当てた授業展開を紹介していただきます。今年はオンラインです。意見交換はできませんが、改めて看護歴史を学ぶ意味を、おひとりおひとりに考えて頂ければと思っています。是非視聴していただき、感想をお寄せ下さい。

学会総会について

第35回日本看護歴史学会学術集会WEB開催に伴い、学会総会は昨年同様紙面による決議を行うこととさせていただきます。

議事案につきましては、同封の総会資料をご高覧いただき、返信用紙への記入後、同封封筒（後払い）をご使用いただき、事務局宛にご投函下さい。書面表決書での返信（8月15日〆切）にご協力をお願い申し上げます。結果につきましては、本学会HPにて公開いたします。

“春の叙勲” 矢野 正子先生『瑞宝小綬章』を祝して

理事長 丸山 マサ美

令和3年4月29日（昭和の日）、春の叙勲授章者が発表され、矢野正子先生が『瑞宝小綬章』を拝受されました。矢野先生は、昭和59年6月から平成5年6月まで、当時の厚生省にて看護行政に携わり、その後は、東京大学や聖マリア学院大学等に奉職されました。『看護師等人材確保法の制定』『訪問看護制度の創設』『看護系大学と大学院の増設』等に関与されましたが、「現在、看護職には業務や処遇の改善等、多くの課題がありますが、人々の生活と健康を守り支える役割を質的にも量的にも十分果たせるように、コロナ禍を乗り越え、将来の看護を担う人たちと一緒に進んでいきたい」と、語られました。

【主要略歴】元東京大学教授・厚生省健康政策局看護課長

【功労概要】厚生行政事務功労



矢野正子先生と私

（令和3年4月29日 福岡）

「学会誌・テレホンカード」購入連絡先

●購入連絡先 ⇒ （HP掲載）

〒812-8582 福岡市東区馬出3-1-1
九州大学大学院医学研究院保健学部門内
日本看護歴史学会 事務局

●テレホンカード 産婆120年（50度）81枚

●学術誌

2016年29号 12冊 2018年31号 4冊
2019年32号 11冊 2020年33号 68冊
2021年34号 49冊 （2021年4月30日現在）
事務局 2021.4.30



*（ ）内は会員番号 2021年1月～5月入会

依田 茂樹 (20015)	山崎 律子 (20016)
森山 幹夫 (21001)	新宮 典子 (21002)
夫 博美 (21003)	菊池 美貴 (21004)
坂本めぐみ (21005)	大西 智子 (21006)
杉田真奈美 (21007)	真島 知美 (21008)
兼宗 美幸 (21009)	

お知らせ

■事務局から

2021年度会員動向（2021年1月～5月末現在）

1. 会員数 301名
 2. 入会者 11名
 3. 退会者 29名※
- ※うち資格喪失者8名、住所不明者4名含む

■編集委員会からのお知らせ

学会誌投稿論文送付先は下記の通りです。
お間違えのないようにご注意ください。

〒150-0012 東京都渋谷区広尾4-1-3
日本赤十字看護大学
日本看護歴史学会編集委員会
鷹野 朋実 宛

編集後記

新型コロナ感染拡大が収まりません。今回の学術集会で過去の叢智を学び、役立てる事が出来そうな発見がありますように。Web開催ではありますが、多くの会員の参加・交流を願います。
（く）

日本看護歴史学会会報 第76号

企画・編集 川原由佳里（日本赤十字看護大学）
黒田 裕子（大阪府助産師会産後ケアセンター）

発行責任者 丸山マサ美（事務局）

印刷 有限会社 新和印刷

事務局 〒812-8582
福岡市東区馬出3-1-1
九州大学大学院医学研究院
保健学部門内
事務局 丸山マサ美
TEL & FAX 092-642-6710（直通）
E-mail 2rekishi@med.kyushu-u.ac.jp

学会HP <http://plaza.umin.ac.jp/~jahsn/>